



信任＝信じて任す＝協力



先週、令和5年度(2023年度)後期生徒会役員選挙が実施されました。会長、副会長、執行委員2名の計4名が立候補をしてくれ、さらにいよいよ1年生も加わっての生徒会選挙となりました。4名全員が堂々と自分の公約を発表している姿に今回も感銘しました。また、同じく選挙管理委員の人達も落ち着いて、丁寧に説明や司会進行している姿にやはり感動しました。そして、本当に頼もしく感じました。4名の立候補者は、一人一人が自身の公約を真剣に訴えていました。そしてそれを真剣に聞いているみんなの姿も立派でした。いろいろな公約がありましたが、共通して言えることは「横堤中学校をより良い学校にしたい。」「みんなが楽しく笑顔で過ごせる明るい学校にしたい。」ということだったと思います。そのうえで具体的な取り組みとして、**「意見箱の設置、SDGSを意識した活動、時間前行動の徹底、ノーチャイムデー、あいさつ運動」**などなど、それぞれが様々な取り組みを考え発表してくれていました。また、1年生は先輩たちの頑張る姿に憧れて同じように自分も後輩から尊敬される先輩に今後なっていきたいという話もありました。また、小学校とは違う景色が見えるようにしたいという話もありました。すべて正しい感じ方、考え方だと校長先生は思います。人のため、学校のために**頑張っている姿がかっこいい**とその姿にあこがれ、尊敬できる一人一人になってほしいと思います。また、そんなふうに素直に頑張っている人や努力をしている人を認められる人もかっこいいと思います。選挙管理委員の人が言っていたように今回の選挙は信任投票による選挙となりました。信任とは信じて任す(まかす)という意味です。ただし立候補者以外の方は、選んであげたのだからあとは知らない。勝手にやってということではありません。**「信じて任すということは決して人任せにすることではなく、みんなの代表を決め、全員に協力する決意を表明する選挙」**であったことを忘れないでください。新生徒会執行部は10月からのスターです。現生徒会の皆さんにも最後までみんなで協力して、目の前の体育大会を大成功させましょう。

さあ！みんなで横中をさらにさらに盛り上げていくぞ！



毎週のように部活動の活躍を表彰できたり、紹介することができてうれしく思います。相手選手やお世話してくれている先生方やコーチ、応援してくれる仲間や家族に敬意と感謝の気持ちを忘れず、さらに努力を続けていきましょう。